

2018/03/09(金)08:37

科目名称 Course title(Japanese)	アントレプレナーシップ入門		
科目名称(英語) Course title(English)	Introduction to Entrepreneurship		
授業名称 Class name	アントレプレナーシップ入門(旧:アントレプレナーシップ概論)		
教員名 Instructor	牧野 恵美		
開講年度学期 Year/Semester	2018年度 前期		
曜日時限 Class hours	月曜4限		
開講学科 Department	経営学部 経営学科		
単位 Course credit	2.0	学年 Grade	1年
科目区分 Course category	関連専門基礎	履修形態 Compulsory/Elective	必修
概要 Descriptions	競争が激しいグローバル社会では、分野や職種に限らず、アントレプレナーシップを発揮できる人財が求められています。経営学を学ぶために入学した理科大経営学部生にとって、アントレプレナーシップは馴染みのない概念かもしれません。アントレプレナーシップは日本語で「起業」と呼ばれることが多いのですが、必ずしも新規ビジネスを立ち上げることだけを指すわけではありません。本講義は、グループワーク、演習、DVD学習などを通じて、アントレプレナーシップを身近なものにとらえます。		
目的 Objectives	アントレプレナーシップについて履修生が自らの価値観や志に照らし合わせて考察することを目的としています。		
到達目標 Goals	1) グループで議論する能力をつける 2) アイデアを出して、提案できる 3) アントレプレナーシップについて自分の言葉で説明できる 4) 自分の強みを認識できる 5) 起業家の思考・行動プロセスを説明できる		
履修上の注意 Course notes prerequisites	本講義はグループワークをはじめとした演習が多いため、出席と積極的な参加を重視します。従って、授業にただ出席しているだけでは、貢献とはみなさず、状況によっては貢献点を大幅に減点することもありますのでご注意ください。 また、一部、キャンパス外でのフィールドワークへの参加が求められます。4回以上の欠席は、原則として不可(D評価)とします。		
準備学習・復習 Preparation and review	ほぼ毎週、事前課題を設定しているため、週1時間程度の準備学習が必要です		
成績評価方法 Performance grading policy	授業への貢献 40% 事前・事後課題・小テスト 30% 美術館レポート 10% 期末テスト 20% 以下の(1)(2)の条件を全て満たす学生は、単位取得不合格(D評価)の場合、再試験を受験することができる。 (1)総合得点が50点以上であること。 (2)講義への出席率が80%以上であること。なお、開始20分以内にカードリーダーで手続きした者のみ「出席」扱いとする。		
	S: 到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている A: 到達目標を十分に達成している		

成績評価基準 Performance grading criteria	B:到達目標を達成している C:到達目標を最低限達成している D:到達目標を達成していない ー(履修放棄):一度も出席せず、かつ一度も演習や課題に解答せず、かつ期末レポートを提出していない
教科書 Textbooks/Readings	ダイアナ・キャンダー『STARTUP(スタートアップ):アイデアから利益を生み出す組織マネジメント』新潮社(2017年)
参考書 Course material	講義で適宜紹介の予定
授業計画 Class plan	1 ガイダンス 2 ゲストスピーカー 3 キャリアとは?自分を振り返りながら将来を考える 4 強み分析 5 リスクと不確実性 6 認知科学と想像力 7 アイデア創出 8 起業のプロセス(1) 9 起業のプロセス(2) 10 起業のプロセス(3) 11 イノベーションと起業 12 マーケティング 13 美術館演習 14 総括 15 期末試験
教職課程 Teacher-training course	
備考 Remarks	
9986551	